

## 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインにもとづく試合運営方法について

福岡県高等学校体育連盟剣道専門部  
専門委員長 畑江秀彦

全国高等学校選抜剣道大会福岡県予選会を開催するにあたり、全日本剣道連盟から出されている「主催大会実施にあたっての新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を遵守し開催いたします。

特に「鏝競り合い」及び意図的な「時間空費」や「防御姿勢」(勝負の回避)による接近する行為についての見解や方針については、下記の全国的に統一した内容により開催いたします。

下記内容は、先日行われた九州高等学校選抜剣道大会ブロック予選会・福岡県予選会で通知しておりました変更内容から、さらに変更となります。熟読の上、生徒への指導と周知徹底をお願いします。

また、先生方におかれましても、大会までの練習試合等において審判に立たれる等の研鑽を積まれた上で、大会への参加をお願いします。

### 【新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法】(抜粋)

#### 1 試合者

- ・試合者は、面マスクの着用、及びマウスシールドの装着を義務付ける。面マスクについては、鼻まで覆うこととする。
- ・試合者は鏝競り合いを避ける。
- ・接触した瞬間の引き技、及び体当たりからの引き技(発声を含む)は認める。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、試合者はただちに分かれる。

#### 2 審判員

- ・鏝競り合いを解消しない場合には、ただちに「分かれ」を宣告する。

##### 1) 意図的な「時間空費」

- ##### 2) 「防御姿勢」(勝負の回避)による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則り反則と判断する。

※この問題については、審判員の裁量だけで解決するのは困難であるため、監督及びコーチ等の指導者は、事前に試合者に対して、十分に指導、徹底すること。

#### (注意事項)

##### (1) 「分かれ」→「始め」の宣告の仕方

- ・審判員は、選手の手先取りをして移動する。特に主審は先取りをしないと試合者の中央で「分かれ」を宣告することが困難になる。状況により「分かれ」の宣告が試合者の中央で宣告できない場合もあるが、「始め」の宣告は必ず両試合者の中央の位置で行う。

- ・「分かれ」は主審の裁量で判断し宣告する。
- ・完全に剣先が触れない位置まで分かれさせる。

##### (2) 「分かれ」を宣告する機会(時期)

- ・「ただちに『分かれ』を宣告する」とは、特に秒数は設けない。
- ・機械的にすぐに「分かれ」を宣告すると、試合者は「分かれ」の宣告を待つことになり、「分かれ」を多発することになる。
- ・試合者は、鏝競り合いになった瞬間、技が出ない場合は積極的に分かれる努力をすることが重要である。
- ・打突動作から鏝競り合いになり「縁が切れ」、分かれな場合は、直ちに「分かれ」を宣告する。

##### (主審の裁量)

- ・相互に分かれようとしている途中の打突は、有効打突としない。場合によっては合議の上、反則を適用する。特に一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突する場合や分かれようと見せかけて打突する場合等